

# 週 報

1989年5月28日 聖霊降臨節第3主日

巻 10 9号

1989年度教会主題

「神の言葉に従う」

聖句 時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。」……アブラムは主が言われたようにいで立った。

創世記12章1節、4節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集會を守る。
  2. 新會堂の建築計画を完成する。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

會堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

電話 045-833-6616

牧師 秋 吉 隆 友 雄

## —牧師室から—

洋光台集會は年を召された方々が比較的多く集う。数人の方から「早く會堂を建てていただかないと、間にあいません」「天国の主人に新會堂のできたことを聞かせてあげられない」と言われ、少なからず焦せる思いにさせられた。私は「再来年には完成するでしょうから、召されないように頑張ってください」と申しあげ、皆で大笑いした。現代は何時、何事があるか分からない時代だから、召されるのは年令順とは限らない。しかし、新會堂の完成を、関わった全員で喜び会いたいと心から願っている。

聖書の学びの後、いきおい年を取ることに進む。何より体が思うように動かない。氣力も体力

も減退する。不安と恐れが増すだろう。夫の世話も大変だと言われる。逆に、その世話も、ケンカもできない孤独もあるだろう。昔のように大家族の中で大事にされた時代と違って、年を取ることはますます難しくなっている。信仰による平安と希望が、老後の本当の宝になる。頭だけの信仰でなく、体にしみついた信仰を得たいと思う。そして、教會はお年寄を大切にする群でありたい。

私は昨年、はじめて人間ドックに行き、どこも異常ないと言われ健康であることを感謝した。しかし、確実に老化は進み、人の名前や本の名がすぐに出てこない。電話番号を以前のように暗記できない。そして、老眼が進み、近視の眼鏡を外さないと本が読めなくなったので、とうとう遠近両用の眼鏡のお世話になることになった。年を取っても異常に若ぶことはみっともないが、75歳で行く先を知らないで出て行ったアブラムの信仰を忘れまいと思う。